

安全運転

ほっと NEWS



平成20年1月号

今月のデータ

約279万件

新駐車対策法が施行された平成18年6月1日からの1年間に放置駐車違反の確認標章の取付け件数です。前年同期比の約1.3倍にのぼりました。



P 駐車場で事故防止ポイント こんな場面では慎重に!

駐車場では事故が多発している!

一般道と異なり、駐車場内では、ゆっくりとした速さで運転されていますが、駐車スペースを探す車、出口に向かう車が不規則に錯綜します。また、車を乗り降りする人が駐車車両や柱の影から飛び出してくるかもしれません。

車両同士の衝突であれば、比較的軽微な事故ですむかもしれませんが、歩行者との衝突は死亡事故につながる場合もありますので、油断は禁物です。



駐車場の入口付近ではここを確認しよう

駐車場への進入する際や駐車場内から出る際、安全確認を怠ると、歩道を通行してきた歩行者や自転車を見落として衝突することがあります。



そこで、駐車場に出入りする際には、「歩道を横切る前の一時停止」を徹底しましょう。

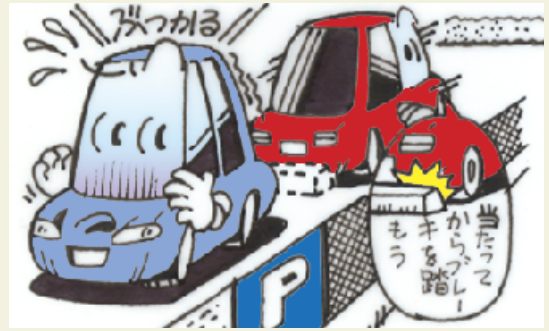
歩道または路側帯を横断する場合、一気に通過せずに完全に一時停止をしてから、歩行者や自転車が接近していないことを確認してから横断することを心がけましょう。

駐車場…そこにある危険



突然発進してくる車両

安全確認をせずにいきなり発進してくる車両がいることを予測し、いつでも止まれるスピードで進行しましょう。



駐車する前に…

駐車車両の間に駐車させる場合は、側方間隔が十分にあることを確認しましょう。また他の車両と背中合わせの状態駐車する場合は、車輪止めがあるかを事前に確認してから駐車しましょう。



バックするとき

バックするときは死角が多く、安全確認が不十分になりやすく、小さな子どもを見落とす危険があります。周りに人がいないか、車が接近していないかを必ず確認しましょう。

そして、ギアをR(リバース)に入れてからすぐに動かず、ひと呼吸おいて(警告音を数回鳴らして)からバックしましょう。(同乗者がいる場合には、誘導してもらえれば、より安全です。)

マナーの悪い車両の隣への駐車は避けよう

- バックで発進しなければ出られない車両
 - 車体(タイヤの舵角)が斜めを向いた車両
 - ラインをまたいで駐車している車両
- などの車両の隣に駐車すると、ぶつかる危険が高くなりますので接触されることのない十分なスペースを選んで駐車しましょう。



ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課